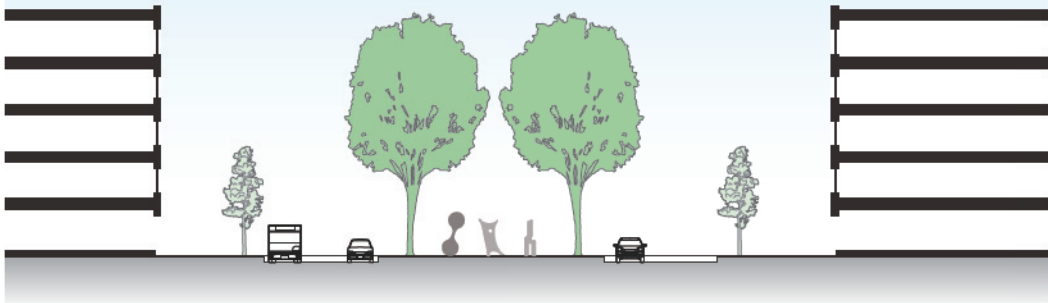


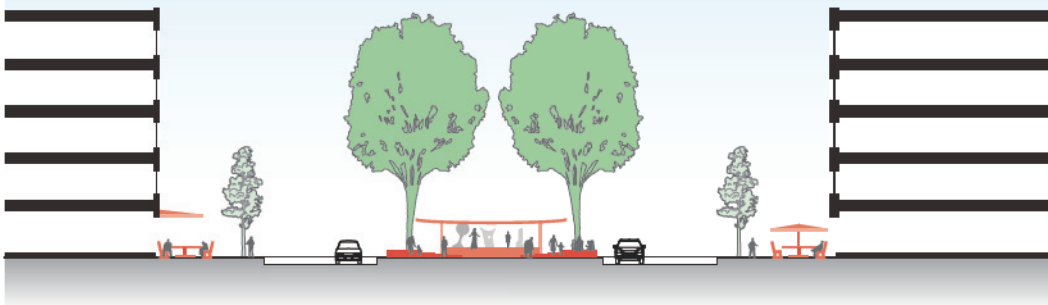
計画後基本断面 S=1/300



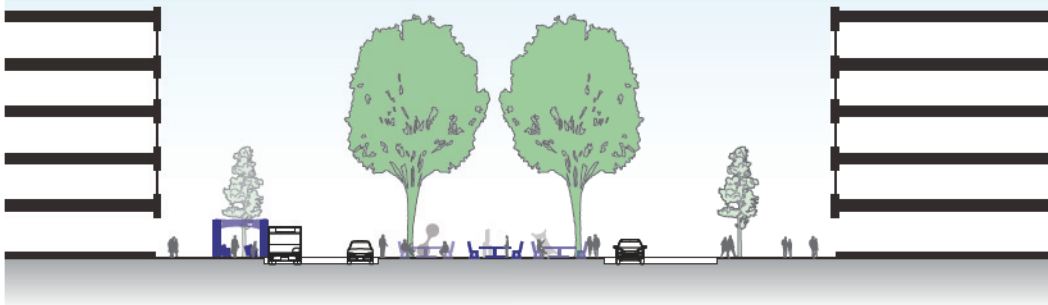
計画後断面(緑)



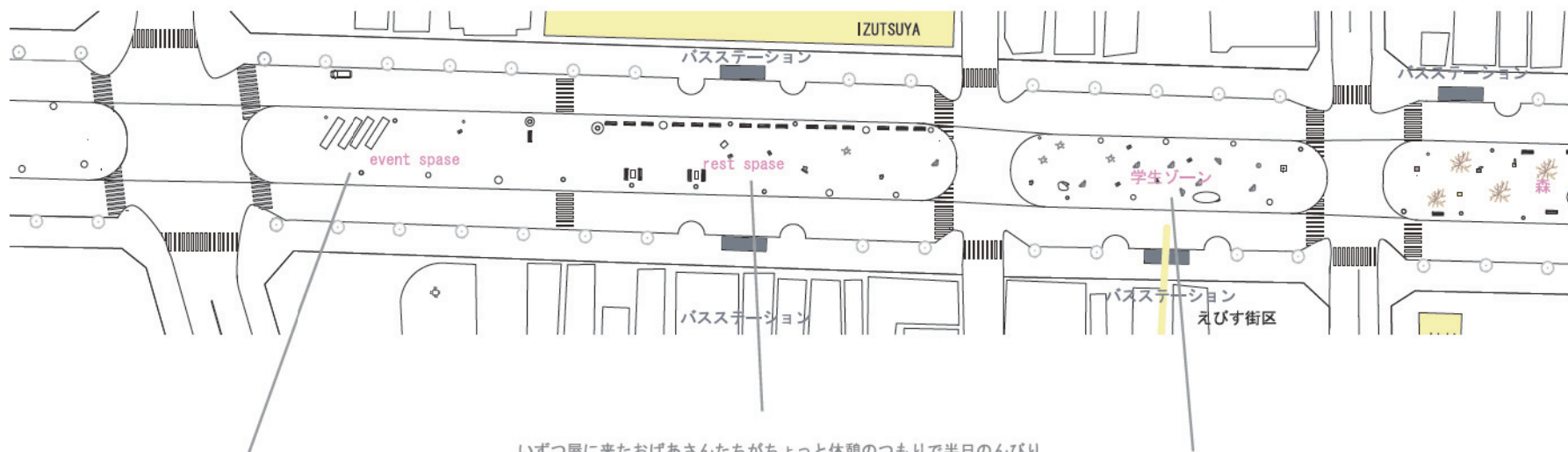
計画後断面(イベント・オープンカフェ)



計画後断面(学生のスペース・バス停)



平面プラン



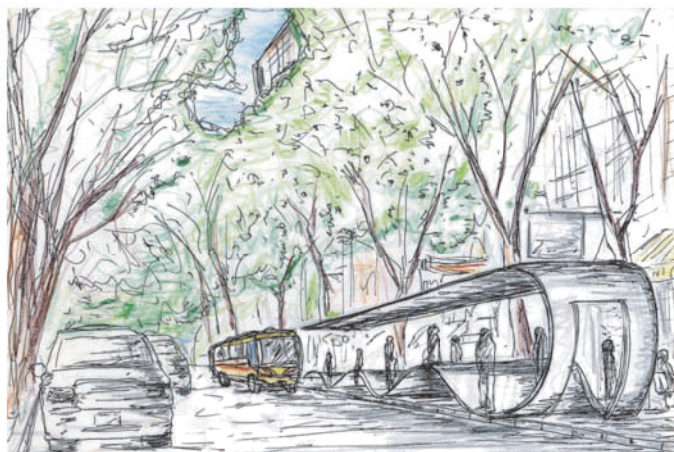
いづつ屋で今まで行われてきた朝市が中央ゾーンに移り変わった
朝市をはじめ、イベント時には特設ステージが置かれ、にぎわう

いづつ屋に来たおばあさんたちがちょっと休憩のつもりで半日のんびり

木に囲まれた温かい空間に座り心地の良いイスが並んでいる

えびす街区の学生たちやその友達も集まって勉強…
と思いきやみんなでおしゃべりが始まっていた

勉強スペース・休憩スペースが用意されている



バスステーション

ステーション自体を彫刻化して、周辺の彫刻と馴染ませる



建築物に関する規定
建物立面を連続させる

現在の建物立面は高さ・張り出しがバラバラとなっており、それらを揃えることによって、より街並みのリズムや連続性を保つことが可能となります。

高さを揃える 張り出しを揃える

いづつの高さ(5層)にスカイラインを統一する

水遣りに対する新しい料金システムの提案

現在、青少年会館の井戸から水を選び、散水を行っています。しかし、今後より多くの植物を配置することを考えると、散水栓の設置が望まれます。

提案1
路上駐車場の駐車料金を徴収する

提案2
中央ゾーンに仮設店舗を設置する場合や、店舗をはみ出して、歩道に拡張させる場合に公共スペース設置料を徴収する

国道190号線新提案の際の宇部まつりの行い方の提案

今までの宇部まつりは国道190号線を歩行者天国とし、6車線全てを使い行われてきました。しかし、新提案では車道は2分化し、3車線となってしまいます。

現在、一方通行で行われているバレードを、回遊させる

回遊させることにより、中央ゾーンで25万人の来客が、より間近で観賞することが出来ます。また中央ゾーンには、屋台の設置や、小団体でのパフォーマンスの場となります。両隣の通路の店舗スペースが外部へあふれ出し、3つの歩道空間によって、賑わいを見せるでしょう。

